

①ほくとライブラリー明徳館河辺分館
秋田市立中央図書館明徳館河辺分館は、平成19年に開館しました。愛称はせせらぎライブラリー河辺分館です。3世代の家族が気軽に利用できるように、子どもの本を中心に取りそろえています。

②クジラ
このクジラの化石は、昭和63年に旧河辺町岩見守小平岱口で発見されました。約300万年前は、日本海に多くのクジラがおり、河辺地域も海の中でした。

③陽田寺
八幡太郎源義家の重臣・鎌倉権五郎景政の末裔為景の子・景房が三條の戦いに敗れ、天文11年(1542)に現在の河辺式田に逃れて住み、松沢忠右衛門景尚と称して建立した地蔵院が、陽田寺の前身です。寛永12年(1635)に現在地に移転し、東林山陽田寺と山・寺号を改め、曹洞宗寺院となりました。花まつり、みたままつりなどで幼児教育に貢献しています。

④夫婦地藏堂
女地藏が明治15年7月に、男地藏は明治23年9月に建立されました。縁結び・家内安全・夫婦円満にご利益があり、苦しみから救い、願いを叶え、幸せを与えてくれるお地藏様として地元の人々に敬われ、守られています。

⑬岩見神社
岩見神社は、雲霞にひそむ悪鬼に手こずった坂上田村麻呂が、山上で薬師如来を拝んだところ、たちまち雲霞が晴れ、悪鬼を捕らえることができたので、山上に社を建立して、薬師如来をお祀りしたのが始まりといわれています。通称薬師さんと呼ばれています。明治12年に現在地に遷りました。社殿の屋根下各4隅に1体ずつ力士像が配置され、肩や背、腕などで屋根を支えています。それぞれの表情にも注目!

⑬へそ神社
へそ神社は、へそ公園が県の中心であることを記念して建てられました。岩見神社の隣に鎮座しています。

⑤豊島館
豊島館は、岩見川右岸の丘陵にある、戦国期の山城です。豊島氏の居館で、仙北や由利地方との接点にあり、重要な地点に位置していました。頂部には、通称奥御殿、前御殿と呼ばれる曲輪があり、空堀、土塁、急斜面に守られた堅固な居館だったことが分かります。散策路が整備されていますが、急斜面には注意を!

⑥豊島館の一本杉
豊島館の一本杉は、奥御殿にぼつんと立っています。一本杉のある場所からは、戸島地域や遠くの県立中央公園が見えます。

⑦仁井田堰
仁井田堰は、元和2年(1616)に秋田藩家老の柳津憲忠が、仁井田原野の開墾と併せて、用水路工事に着手したことが始まりです。その後、幾度かの改修を経て、地域の農業水源として役だっており、現在は仁井田堰土地改良区が管理しています。

⑧満蔵寺
満蔵寺は、豊島城主の豊島玄蕃が、天文3年(1534)に菩提寺として豊島館西の満蔵寺沢に開き、その後、現在地に移りました。明治元年に、近くの精舎陣屋に入った佐竹巻敏守家(秋田新田藩2万石)が菩提寺とし、現在も境内に藩士の墓があります。

⑧伏拝
伏拝は、殿測から200mほど上流にあります。3段になった滝で、新緑や紅葉の時期は一層美しさが増します。殿測から伏拝まで川沿いに遊歩道があり、散策にはぴったり。水流により浸食された丸い穴があります。見つけられるかな?

⑨殿測
殿測は、鶴養の北東約600mにあります。昔、殿様がこの測を馬に乗って遊覧中に誤って落馬したことから、この名前がついたと言われています。

⑨満蔵寺 山門
満蔵寺の山門は、安政2年(1855)に建てられました。屋根は入母屋造で鉄板葺に改修されています。

⑩神社
この神社は、古くはお不動さんと呼ばれています。京都生まれで身寄りの無い藤太という少年が、不動明王をお祀りする老僧と出会い、親子のように暮らしました。老僧が亡くなると、その後を継ぎ、やがて不動明王を背負って全国を旅しました。戸島を訪れると、ご本尊を動かすことができなくなり、お祈りしたところ、ご本尊が「この地を永久に守る」と仰り、それからお祀りしているとのこと。

⑪丸山湧水
丸山湧水は、丸山町内の南側に湧き出ており、小公園として整備されています。多くの方が訪れており、「丸山湧水の里」と命名され、水神の水汲真神を祀っています。近くの池には、幻想的なヒロハツボミゴケがたくさん。アニメに出てきそうな雰囲気です。サンショウウオも見られるかも!

⑫筑紫森
筑紫森は、標高391m、幅100~200m、長さ400m前後のほぼ南北に貫いた岩山です。流紋岩からなる柱状節理が発達しています。今から1400~900万年前に、海底から噴出した火山岩類が侵食を受けて取り残され、現在の姿になりました。参道の中腹に「天狗の油こぼし」と呼ばれる難所があり、柱状節理が見られます。また、山の南東側には、「千本垂木」と呼ばれる何本もの角材を横に積み重ねたような地形が見られます。

⑫ユフォーレ
ユフォーレは、天然温泉を活かした健康増進が目的の施設です。日帰り入浴や宿泊が可能です。トレーニング施設や自然を活かした野外の施設が充実していて、1年をとおして楽しめます。

⑬大張野について
「張(はり)」は「原」の意味があり、大張野は大きな原野ということになります。大張野には、明治13年に「秋成社」を結成した旧秋田藩士が移住し、開墾や養蚕、機織を行いました。

⑬戸島について
戸島は、川沿いの耕地という意味です。岩見川氾濫原の自然堤防上にできた集落です。近世には、伝馬や本陣が置かれた交通の要地でした。

⑬戸島清水
戸島清水は、戸島板並木のトンネルをくぐったところで、七曲臨空港工業団地の手前で湧き出ています。立派な1枚板の看板が出迎えてくれます。庭園風に整備されており、たくさんの植物が育っています。サンショウウオが見れるかも?

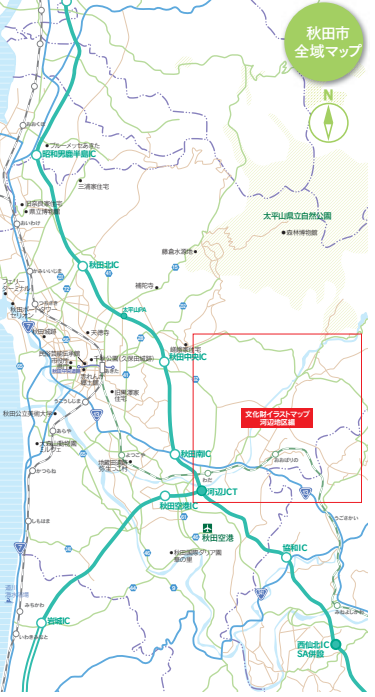
⑬りゅうきゅうつつじ
りゅうきゅうつつじは、代々所有者の庭木として保存・管理されており、推定樹齢は約300年といわれています。樹高は3m以上、枝葉の広がり6mにも達します。毎年5月の開花期には、純白の花が見られます。

⑬いちい
いちいとは、代々所有者の庭木として保存・管理されており、推定樹齢は約300年です。樹高は10m以上で、根元から3本に分かれ、扇状に伸びた枝は見事です。おんこも呼ばれます。

⑬もみの木
もみの木は、樹齢360年以上と推定されます。慶長年間(1596~1615)に、南部八戸から移り住んだ現所有者の先祖が植えたといわれています。落雷に遭っていますが、今も元気に育っています。

⑬舟作
舟作は、伏拝の滝の上流300mほどのところにあります。名前の由来は、川の流れによって削られた岩盤が、舟の形をしていることからされています。

⑬山の学校 (自然工房北の風)
山の学校は、岩見ダム建設時の作業員宿舎でした。ダム完成後、旧河辺町に寄贈され、秋田市合併後に山の学校となりました。幅広い年代を対象として、野外スクールの各種プログラムを実施しています。色々な手作体験ができますよ!



※解説文についている番号は、マップ表面のイラストについている番号に対応しています。



⑭旧河辺農林漁業資料館
旧河辺農林漁業資料館は、河辺の農業や林業、漁業や民俗資料を収蔵しています。平成25年に閉館しましたが、3日前までに文化振興課に予約すれば、観覧することができます。

⑭水車発電機
明治44年に、帝国鉄道庁により土崎工場の動力電源を得るために旧三内発電所が建設されました。建設当初に稼働したのが、ドイツ製の発電機とスイス製の水車です。現在は、旧河辺農林漁業資料館に収蔵されています。



⑭へそ公園
へそ公園は、組谷峠付近が秋田県の中心地にあたることから、昭和61年に秋田県の真ん中であることを示す「中心標」が設置されました。へそを意味するオブジェなどが、丘の上からは鶴養地域を一望でき、春は桜の名所として知られています。

⑭大張野行在所跡
大張野行在所は、明治14年に明治天皇が東北巡幸をした際に休憩した場所の一つです。明治維新後、仕事を失った士族たちは、羽生氏熟を中心として大張野の開拓にあたりました。明治天皇は、その開拓の努力を励ますためにお立ち寄りになりました。跡地には、巡行に同行した岩倉具視の歌碑もあります。「八東穂の今美ら秋の田の身を尽くしても聞く力に」

⑭マンホール
旧河辺町時代に設置されたマンホール。清流に鮎が泳いでいます。

⑭鶴養の堰
鶴養の集落内には、石積みの見事な堰が張り巡らされています。農業用水や生活用水として利用されています。ほとんどの家に、小さな洗い場が設けられています。



このマップについて
このイラストマップは、河辺地区の和田駅・戸島・鶴養・若見内周辺をピックアップしています。この地区以外にもみどころがたくさんあるので、ぜひ河辺に足をお運びください。

鶴養地区の地名の由来
鶴養地区がある盆地は、かつて沼を形成していたといわれています。この沼で鶴を飼ったことから地名が生まれたという説があります。

岩見川について
岩見は、「岩石の多い谷川」を意味しています。古くから灌漑用水に利用されました。また、豊富な水を利用して、昭和30年代から40年代にかけて4つの発電所が建設されました。

大張野について
「張(はり)」は「原」の意味があり、大張野は大きな原野と分かれ、米沢・山形・新庄を経て院内峠から秋田領内に入り、横手・大曲・河辺・久保田城下・土崎・能代を経て、大館の矢立峠まで63里4町23間(約248km)あり、さらに弘前・青森へと続きます。

羽州街道について
東北を南北に貫く江戸時代の基幹道路で、福島で奥州街道と分かれ、米沢・山形・新庄を経て院内峠から秋田領内に入り、横手・大曲・河辺・久保田城下・土崎・能代を経て、大館の矢立峠まで63里4町23間(約248km)あり、さらに弘前・青森へと続きます。

河辺のアーティスト紹介
このマップで紹介する河辺では、アーティストが活躍しています。豊かな自然からヒントを得て、様々な制作活動を展開しています。その中の3つの芸術スポットをご紹介します。

●森の小屋
ジャンル:コンクリート彫刻
「草むら彫刻」の看板を目印に登って行くと、コンクリートの像が野外に点在しているのが見られます。
住所:秋田市河辺畑谷字岱219-2
時間:随時
休み:不定休

●木街窯
ジャンル:陶芸
秋田の天然素材を使った焼き物を制作しています。工房体験教室のほか、出張教室も行っています。
住所:秋田市河辺和田字式田293
時間:10~17時
休み:不定休

●headline studio
ジャンル:写真
農業と写真の融合を考え、写真を通して秋田の魅力を伝えていきます。
住所:秋田市河辺和田字上野5-6





このマップは、市民がまち歩きをして作成しました！

市民のみなさんに地域の文化財・文化施設をもっと身近に感じてもらいたいと、文化財イラストマップを作成しました。マップ作成のためのワークショップでは、23人の市民のみなさんが実際にまちを歩いて情報を集めました。このマップには、ワークショップ参加者が注目したのやコメントなどを盛り込んであります。

このマップを持ってまちを歩き、地域の文化財・文化施設を楽しんでください。

河辺市民サービスセンター ☎018-882-5221
 ほくとライブラリー明徳館河辺分館 ☎018-881-1202

秋田市観光案内所(秋田駅構内) ☎018-832-7941
 (財)秋田観光コンベンション協会 ☎018-824-8686

編集・発行：秋田市観光文化スポーツ部 文化振興課
 秋田市山王1丁目1番1号
 電話番号 018-888-5607 FAX番号 018-888-5608
 印刷：秋田活版印刷株式会社
 イラスト：小西 由紀子
 発行日：平成29年3月

文化財イラストマップ 秋田市河辺地区編

まぎたのまち再発見

くると文化財マップ

見て楽しい、歩いて楽しい

茅葺きの家がたくさんあるよ

山の形が真橋子みたい

せせらぎは聴かれるね

カモシカがいたら見守ろうね

きんぴらたきさん

澄んだ清き水だね

赤い箱 どれ何だろう？

パンプキン なんでも100円だよ！ 春から初冬まで

石ころ動物園 動物たちに会いに来てね！

床屋さん横のほこら 二十三日神(さんやさん)と氏神様を祀っています

秋田市



！まちあるきの注意点

※個人住宅や敷地には立ち入らないでください。